

四圍の状況

一、共産軍ノ状況

大同西南方面ノ共産軍ニ関シ信據スヘキ應戰將師ノ談ニヨレハ

一、共産軍ノ主體ハ青年兵ニシテ二十才未滿者多ク極メテ勇敢ニシテ
寧ロ決死的戦闘ヲ爲ス

以上ノ如クナルヲ以テ決シテ恐ル、ノ要ナキモ少シモ侮ルヲ許サス

我軍ハ市街ニ入りテ内地式或ハ滿洲式生活訓練ヲ行フ、彼レハ極メ
テ分散シテ質實剛健決死ノ實戰的訓練生活ヲ行ヒ眞ニ我々軍ノ裏
ヲ搖カントトニ大ナル智能ヲ絞リテ來レリ、

我軍ハ單純ナル典令戦闘ヲ正直ニ秋季演習ノ如ク行フ、此ノ點カ

非常ニ注意スヘキ點ナリ

我隊ハ後備兵ハ上海方面ニテ凱旋セシカ爲ニ餘程元氣ヲ失フ、又少
數兵カニテ常ニ數倍以上ノ優勢ナル敵ヲ南進北轉シテ戦ヒツツアリ、從
ツテ相當ノ疲勞アリ又損害アリ、彼レハ新手ニ新手ヲ用ヒ年少決死ノ

0095

兵ヲ以テ來ル此ノ點今日太イニ我等ヲ考フヘキ事ニシテ特ニ我々隊ノ如キ
ハ今日曠古ノ重責ニ直面シアルコトヲ思ヒ一意聖勅ヲ奉體シテ門出ノ
決心ヲ益々強化シ軍紀ヲ振作シ團結ヲ強化シ早ク土地ニ慣レ幹部ノ
能カヲ向上シ眞劍ニ實カラ蓄ヘ必勝ノ戰カヲ發揮スヘキコトヲ志ルヘカ
ラス

2. 敵ノ戰鬪法

此件ハ聞キ込メル話第八號蔣介石ノ誘撃作戰要領ノ五項目ニ存シ特ニ
夜間攻撃ヲ用ヒ手榴彈攻撃ヲ加ヘ指揮官(本部)ヲ覘ツテ來ルカ如ク
又待子伏セ式奇襲多ク偵察ニ関シテハ極カ密偵すばいノ熟練セル
手段ニヨリテ實行スルモノト覺悟スヘキナリト云フ

此ノ夜間攻撃戰法ニ関シテハ先般石川大尉講話ニ示セル如クナルカ尚
若干耳新シキ點ヲ述フ

1. 城壁ニ登リ攻メ込ミ家根傳ヒニ來ル 城壁ハ高サ三丈位ノモノヲ

故活ニ登ルト信フ。器械ハ梯子ヲ用フ 實ニ我カ決死隊ト何等異

0096

ラスト言フ

然ルニ我軍ハ城壁中ニ入レハ安全ナリト樂觀シテ休憩ニ就クニ至ル之ク大ナル過失ナリ

攻撃ノ主ナル武器ハ手榴彈ナリ

手榴彈戦ニ對抗スル戦法ヲ考フヘキニ我軍ハ何モ考ヘテ戦ハス

例ハハ

歩哨カ從來ノ司令部前ノ土囊陣地即チ露天ノ井戸側式陣地ヲ城門附近ニ設ケテ居ルニ對シテ彼レハ之ニ近接シテ手榴彈ヲ投入

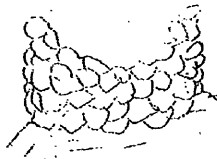
ス 全員一發命中ニテ死傷ス

之ニ對シ何故ニ次ノ方法ヲ講セサルヤ

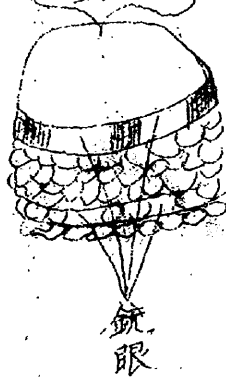
一掩蓋ヲ設ケ堅固ニ銃眼ヲ開キ相當高キ射界ヲ有セシメ安シシテ

死守セシム

井戸側式陣地



手榴彈ニ抗スル土製掩蓋



三

0097

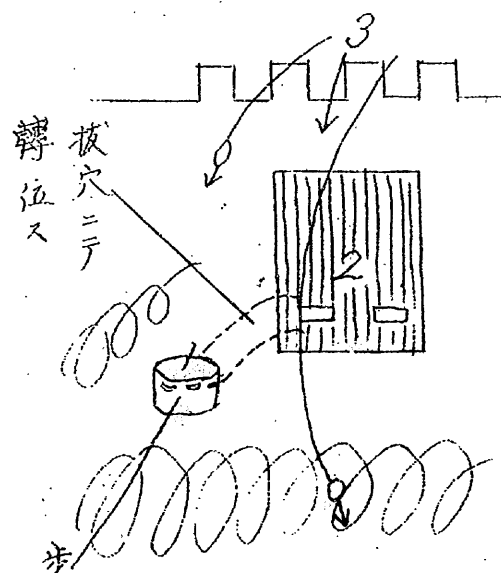
此ノ如ク堅固ナル築城ヲ用フルコト肝要ナリ

築城ヲ輕視スルカ大ナル欠點ナリ

ニ歩哨ハ晝間ト異ル位置ニ轉位ス

特ニ敵襲ノ恐レアルトキ其直前ニ轉位位置ヲ考案シ不意

ニ之ニ據リテ敵ヲ之ヨリ射撃意襲ス



即チノヲ定位ラシクシ

戦カニス、又ハ3ニ轉位シ

テ奇襲スルカ如シ

其他防者トシテハ敵ノ攻撃手段方法ヲ我敵トナリテ至當ニ

判断シ其ノ裏ヲ搔クコトヲ考ヘ之ヲ練習シテ敵ヲ陥弊ニ

0098

引掛ケルノ術ヲ任組ニ遣カサルヘカラス 然ルニ此ノ如キ防禦ノ
智慧一ツモ器キ居ラス

敵ハ決死的突破戦ヲ試ム

之ニ對シテ我カ歩哨ハ敵ヲ威壓セリナト考ヘテ（從來ハ又テ
宜レカリシナリ）何等ノ障碍物モ設備セスニミテ歩哨カ一ケ中隊ノ
敵ノ不意密集突撃ヲ受ケ屋倒セラレ居ル間ニ敵ハ抵抗線ヲ

突破シテ急襲シ来リ直チニ屋根ニ上ル

何故ニ障碍物ヲ更ニ更ニ所在ノモノヲ用ヒテ強化セサルヤ

車ヲ用フル可ナリ 樹木ヲ切り倒ス可ナリ 地雷ヲ設クル可ナリ

手榴彈ヲ投スル可ナリ 何故ニ石油カケタル藁等ニ點火シテ敵

ヲ脅威シ射撃スルノ設備ヲ為サルヤ 何故ニ土民器械ヲ利用

シテ工事ヲ大イニマラセサルヤ

敵ノ急襲突破ヲ巧ニ利用シテ殲滅スルコトヲ考ヘス 又設備セ

ス

五

0099

敵ハ屋根ノ上ニ登ル

我ハ梯子ヲナクテ地ニ上ラバ口ヲ廻ル

何故ニ高位置ニ展望哨ヲ設ケテ敵ヲ警メ又我ハ梯子等ヲ

備ヘテ敵ノ屋根ヨリ來ルヲ撃ツサルヤ

敵ハ十分ニ偵察シテ我本部等ヲ襲フ

何故ニ我ハ事前ニ銃カス位置ヲ變更シ敵ノ攻撃目標ニ群カ

ルヲ一營ニ打テ殺サルヤ

何故ニ敵ノすばいヲ捕ヘサルヤ

要スルニ正直過ギテ内地ノ宿營ノ如クナルカ不可ナリ

敵ヲ城壁ヨリ入り込マシム

何故城壁近クニ抵抗部隊ヲ配備シ置カサルヤ

又永ク駐留スルナラハ何故ニ緊急合營部隊等ヲ設ケテ不眠

ノ豫備ヲ備ヘサルヤ全員就寢スルカ如キカ甚ク不可ナリ

寺裏ニカルト一言ヲ

六

0190

何故ニ前方ニ斥候等ヲ使用シテ敵ノ急襲ニ備ヘサルヤ

要スルニ敵ヲ侮リテ當然爲スヘキ警戒戦備工事等ヲ行ハス敵ヲ我術策中陥ラシメス敵ノ爲ス儘ニ打タルト言フ實ニ指揮官カ馬鹿部隊カ怠慢ナルカ故ニ敵ニ敗ラルハナリ

之レ我軍ハ目下召集將校多クシテ何等思ヒ切ツテ真剣ニ實際役立ツ如ク命令ノ原則ヲ活用セス只平時教ヘラレタル丈ノ智慧ノ儘ニテ大モ十分ニ發揮セスニ戦ヘルカ爲ニ敵ニしてやらざるナリ

各隊長ハ宜シク基本訓練ヲ行フヲ以テ可ナリトセス之ヲ現地現戦況ニ活用シテ今日ノ戦ヒニ役立つ如ク之ヲこなして戦フコト必要ナリ

3 日本兵ハ一軒ノ家椽ヲ利用レテ決死ノ抵抗セントスルノ氣分ナク練兵場功撃戦法ヲ持久防禦ノ狀況ニ用フト言フ

一軒ノ支那家屋、廢墟ト雖之ヲ活用シテ戦ハ大ナル戦鬪威力カラ發揮スヘキニ之ヲ利用セスシテ何等地物ナキ地ニ無爲ニ止マリ、只盲目射撃ヲ以テ彈丸ヲ空費スルカ今日ノ實狀ナリト言フ其罪平素ノ訓練ニ

七

0101

カリ、土壁ニ銃眼ヲ穿ツコトスヲ為シ得ス又之ヲ教育モセス

今日局地ノ利用價値大ナルヲ知ラス又遠キ無益ノ射撃ハ青年

訓練學校教練共儘ニ行フカキハ全ク不可ナリ

此、如キカ故ニ彈丸空費シテ必要時ニ欠乏ス彼レハ手ノ込ミケル

射撃ニヨリ幹部射殺ト言フキヲ出シ居ルニアラスヤ然ルニ指揮官ノ

命令ニヨリテ極メテ射撃軍紀ヲ嚴守レアルニアラスヤ

我軍射撃軍紀ハ全ク○ナリト云フニ於テハ大イニ著ミル所ナカルヘカ

ラス

0102